

新年明けましておめでとうございます。

日南町議会 議長 村上正広

皆様おそろいで健康で健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会の取り組みに対し格段のご理解とご協力を賜っております事を厚くお礼申し上げます。

林野面積が89%を占める本町において林業まつり、植林作業の推進、木質バイオの研究、不在地主調査等日頃から積極的に取り組みをされている、NPO 法人「フォレストアカデミージャパン」の事業推進に対し深く敬意を表します。

昨年は、2040年問題が大きくクローズアップされ、全国で896の市区町村が消滅可能性自治体であると報じられました。1960年代から過疎問題、1990年代「自然減社会」、2000年代「限界集落」、2014年「消滅可能性自治体」と我々の住む山村の役割、存在価値が問われる時代が続いています。

戦後70年を迎え、本町の植林の多くが戦後され、先人たちが苦勞して育ててくれた森林は、育てる林業から間伐を主体とした林業へと様変わりをしてきました。生業として林業を営む方々もたくさん起業して頂き、やはり日南町は農業、林業の町なのだ改めて痛感したところであります。今後この山村で森を活かす、繋がる仕組みを創る事が急務だと思えます。



森林を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあります。経済中心から環境、国土保全、公益的、多面的機能に変化し、環境政策の中で木の持つ二酸化炭素吸収量が大きく見直されています。京都議定書の数値目標も達成出来ない等あり今後の方向付けが大変であると思われまます。我々議会も森林環境税の創設に向けて、全国で議員連盟を結成し鋭意努力をしているところであります。

NPO 法人が地域住民の皆様方と一緒に活動され、その目的、存在価値が大きくなることを願っております。